

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

A 重油ボイラから木質バイオマスボイラへの
更新プロジェクト

排出削減事業者名：加美町

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	加美町
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	やくらい交流施設
住所	〒981-4375 宮城県加美郡加美町字味ヶ袋葉葉原 1 番 76
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	株式会社 F T カーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

A 重油ボイラから木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト

2.2 排出削減事業の目的

やくらい交流施設（やくらい薬師の湯（日帰り温泉）、やくらいウォーターパーク（温水プールと温泉）、やくらい林泉館（温泉宿）、やくらい都邑館（温泉宿））における A 重油ボイラ 5 基を木質バイオマスボイラ 4 基へ更新する。木質バイオマスを使用することによって、CO₂ 排出量を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO₂ を実質的に排出しないものとみなされるため、現在使用している A 重油ボイラを木質バイオマスボイラに更新することで、CO₂ 排出量を大幅に削減する。なお、A 重油ボイラは、引き続きバイオマスボイラのバックアップ用ボイラとして稼働させる。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

木質バイオマスの単位発熱量を、「高位発熱量、ドライベース」から「低位発熱量、到着ベース」に変更

5 モニタリング対象指標

（変更前）木質バイオマスの含水率、木質バイオマスの単位発熱量（高位発熱量、ドライベース）、事業実施後ボイラ効率（高位発熱量）、事業実施前ボイラ効率（高位発熱量）、A 重油の単位発熱量あたりの炭素排出係数（高位発熱量）

（変更後）木質バイオマスの単位発熱量（低位発熱量、到着ベース）、事業実施後ボイラ効率（低位発熱量）、事業実施前ボイラ効率（低位発熱量）、A 重油の単位発熱量あたりの炭素排出係数（低位

発熱量)

※木質バイオマスの含水率は削除

6 モニタリング体制

6.2 モニタリング対象指標のQA/QC 活動量

(変更前) 木質バイオマスの含水率のモニタリング必要

(変更後) 木質バイオマスの含水率のモニタリング不要 ※項目を削除

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2010年4月9日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2015年4月1日 ～ 2018年4月8日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

活動量及び原単位は採用しない。

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

バイオマスボイラ及びボイラから温水の供給を受ける設備

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合、) 変更理由
$F_{\text{fuel,PJ}}$	木質バイオマス使用量	t	8,754.48	燃料供給会社の請求書	変更なし
$HV_{\text{fuel,PJ}}$	木質バイオマスの単位発熱量	GJ/t	15.22 (低位発熱量、到着ベース)	分析報告書	低位発熱量、到着ベースに変更
ε_{PJ}	事業実施後ボイラ効率	%	56.272 (低位発熱量)	カタログ値	低位発熱量に変更
ε_{BL}	事業実施前ボイラ効率	%	91.952 (低位発熱量)	カタログ値	低位発熱量に変更
$CF_{\text{fuel,BL}}$	A 重油の単位発熱量あたりのCO ₂ 排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0745 (低位発熱量)	J クレジット制度のデフォルト値	低位発熱量に変更

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
EM _{PJ}			0.0 (t-CO ₂)

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
8,754.48 (t)	15.22 (GJ/t)	0.0745 (t-CO ₂ /GJ)	
56.272 (%)			
91.952 (%)			
EM _{BL}			6,076.9 (t-CO ₂)

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	6,076.9
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	0.0
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	6,076

7 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2015年4月1日 ~ 2018年4月8日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス利用量	t	8,754.48 t	133,243 GJ	3,437.7 kL